

## 福岡県政150年

### ～第1部 九州のかなめをめざして～

令和3年8月3日(火)～9月26日(日)開催

福岡県は令和3年(2021)、誕生から150周年を迎えます。この県政150年を記念して、九州歴史資料館と福岡共同公文書館では、県政を主軸とする近代福岡県のあゆみについて紹介します。

九州歴史資料館では、第1部「九州のかなめをめざして～」として、明治4年(1871)の廃藩置県前夜から、昭和22年(1947)の日本国憲法・地方自治法施行までの歴史をご案内します。廃藩置県で発足した福岡県は、やがて当時の小倉県や三潁県を合併し、明治9年には現在の県域が確定しました。明治時代、福岡県は炭鉱の隆盛や九州初の鉄道開業、製鉄所や大学の設置などを経て、九州のかなめの県として成長していきます。大正から昭和初期には、西洋建築の大きな県庁舎を建設し、県全域にわたる大規模な道路改良計画を立てるなど、県勢のより一層の発展が図られます。しかし昭和の戦争の時代には、九州の政治や軍事の拠点となるも、アメリカ軍の空襲で大きな被害を受け、終戦を迎えました。

本展では、この近代の福岡県のあゆみについて、県政文書や絵葉書、地図などの史料でご紹介します。また、現在のアクロス福岡・天神中央公園の場所に大正4年(1915)に建てられた旧福岡県庁の模型(写真)も展示予定です。



大正時代に完成した旧福岡県庁の模型(当館蔵)

なお、本展の第2部「アジアのなかの福岡へ」は、同じ会期で福岡共同公文書館にて開催されます。第2部では、戦後の県政を中心に、福岡県のあゆみについてご案内します。

福岡共同公文書館マスコット  
キャラクター「しよこら」



九州歴史資料館マスコット  
キャラクター「ぎゅうおに」

#### ギャラリートーク

令和3年 8月27日(金) 16:30～17:00

「福岡県政150年～第1部 九州のかなめをめざして～」

講師: 渡部 邦昭 (当館学芸員・近代史)

#### 関連講座 (第5回九歴講座)

令和3年 8月28日(土) 13:30～15:30

「近代府県行政と福岡県～昭和初期を中心に～」

講師: 渡部 邦昭 (九州歴史資料館)

# 新たに礎石建物を発見

— 令和2年度 大宰府跡蔵司地区の発掘調査成果から —

古代大宰府の官司(役所)の一つ「蔵司」があると想定される蔵司地区では、平成21年から発掘調査を継続しています。「蔵司」では、西海道(九州)全域から大宰府に送られてきた調庸物(特産品)を保管管理していました。過去の発掘調査では、東側平坦地で複数の礎石建物が、中央の広場を取り囲むように「コ」の字状に並んでいたことが分かり、調庸物などを収めた倉庫群だった可能性が高まりました。

令和元年度からは、この倉庫群がある丘陵に入るための進入路や門がどこにあり、どこからどのように入っていたのかを解明することを目的に調査を実施しています。その過程で、丘陵南側の平坦地において、おびただしい数の瓦が面的に広がる状況が確認されました。

今年度は、その瓦群の周辺をさらに調査した結果、9世紀頃に建てられた礎石建物が瓦群の南側に接するようであったことが判明しました。礎石は比較的小さな石を用い、合計7つ見つかっています。南北約3m以上、東西約4.5m以上の規模で、小型の倉庫や楼閣のような施設だったのではないかという見解もあります。礎石建物は蔵司丘陵へ入るための門ではなかったのですが、礎石建物のさらに西側には、南北方向に伸びる通路とも考えられる空間も見つかりました。「蔵司」へ入るための進入路や、当初見つかった瓦群の性格を解明するため、九州歴史資料館ではさらに調査を進めていく予定です。



## 九歴名品探訪 vol.12



## 九州鉄道線略図

現在の鹿児島本線に当たる九州鉄道の予定路線を描いた地図です。明治19年(1886)に、当時の福岡県の関係者が作成しました。この九州鉄道の敷設に際しては、当時の県知事をはじめとする県の職員たちが積極的に指導・調整を行い、鉄道の開通に尽力しました。その結果、福岡県は明治22年に九州最初の鉄道を開通させ、その後も県内各地に濃密な鉄道網を張り巡らせていくことになります。





九州歴史資料館では経年によって劣化したり傷んだりした文化財の保存修理をおこなっています。文化財の中でも考古資料の保存修復のことを保存処理(ほぞんしゅり)と呼んでいます。今回は保存処理に使われている道具についてご紹介します。

近年、考古資料の保存処理はデジタル解析技術の利用により目覚ましい進歩があります。九州歴史資料館でも、X線CTや三次元計測器、3Dプリンタなどデジタル解析技術により、これまでは想像もできなかった研究成果が発見されています。一方で、劣化の原因を取り除いたり、傷んだ箇所を補強したりする作業は全て手作業でおこなわれており、それには竹串や筆、メスなどのアナログな道具たちが使われています。

保存処理は、劣化の要因を観察したり、傷んだ箇所を取り除いたり、脆い箇所を補強したりといったいわば「外科的作業」が中心です。また、考古資料の劣化状況は個々で全て異なっているため保存処理を自動化することはできません。作業者の目や手、経験によるアナログ的な手法が最も効率よく効果的な保存処理につながるのです。

デジタルとアナログという言葉は、ともするとどちらが優れているなどの対立構造になりがちですが、保存処理では状況に応じて両者を使い分けることでより良い状態で考古資料を後世に伝えていくことができるのです。



▲保存処理の様子



▲保存処理の道具

## 展示紹介

### 2021年度上半期に開催する展覧会

**企画展**：「きゅうおにとタイムトラベルー大昔のくらしと国づくりー」

会期 4月20日～10月10日 会場 第2・4展示室

**企画展**：「福岡県政150年 ～第1部 九州のかなめをめざして～」

会期 8月3日～9月26日 会場 第1展示室

**交流キャラバン展**：「炭坑の記録、世界の記憶」

主催 田川市石炭・歴史博物館 田川市教育委員会  
田川市世界記憶遺産活用活性化推進委員会

会期 8月11日～9月26日 会場 第1展示室・文化情報ひろば  
(※文化情報ひろばの会期は7月27日～10月3日です)

**パネル展**：「古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線2019-2020」

会期 4月1日～7月11日 会場 文化情報ひろば

**パネル展**：「世界遺産『神宿る島』宗象・沖ノ島と関連資産群」

会期 7月13日～7月25日 会場 文化情報ひろば

**パネル展**：「田川市共同開催展(仮)」

会期 7月27日～10月3日 会場 文化情報ひろば

## 記念講演会

「山本作兵衛コレクション  
からみる筑豊の炭坑」

令和3年9月5日

会場：九州歴史資料館研修室

講師：朝鳥 和美 氏  
(田川市石炭・歴史博物館)



太宰府市史跡指定  
100年記念ロゴマーク

令和3年は太宰府史跡  
が国の史跡に指定され  
て100年目です。

九州歴史資料館	行事・事業予定
展示	常設展：4月1日(木)～9月26日(日)「歴史の宝石箱」 企画展：4月20日(火)～10月10日(日)「きゅうおにとタイムトラベル」 8月3日(火)～9月26日(日)「福岡県政150年～第1部 九州のかなめをめざして～」 交流キャラバン展：8月11日(水)～9月26日(日)「炭坑の記録、世界の記憶」 パネル展：4月1日(木)～7月11日(日)「古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線2019-2020」 7月13日(火)～7月25日(日)「世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」 7月27日(水)～10月3日(日) 交流キャラバン展「炭坑の記録、世界の記憶」
古代体験	九歴ボランティアによる古代体験 (状況により一部再開 予約不要)
講座・イベント	九歴講座：毎月第2土曜日(一部不定期) 定員80名 要事前申し込み 13時より開場 九歴ゼミ：7～9月「大宰府・太宰府天満宮史料を読む」 (定員50名 要申込、申込多数の場合は抽選、5月より受付開始) タベのキャラトーク：7月30日(金)①常設展Part.1「福岡県政150年～第1部 九州のかなめをめざして～」 8月27日(金)②企画展「福岡県政150年～第1部 九州のかなめをめざして～」 イベント：4月25日(日)古代の生活体験2021・春 6月20日(日)親子で古代体験2021・春 7月27日(火)平日古代体験1日目 8月1日(日)親子で古代体験2021・夏 8月3日(火)平日古代体験2日目 8月上旬 なるほど!子ども歴史教室 9月19日(日)親子で古代体験2021・秋
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区)・県内遺跡発掘調査4月～3月

\*日程未定については、決まり次第当館ホームページや館内配布チラシ等でお知らせします。また、内容・開催期間は変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。

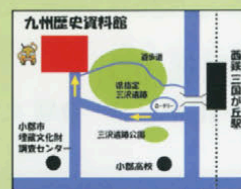
求 菩 提 資 料 館 〒838-0085 豊前市大字鳥井畑 247 TEL・FAX 0979-88-3203	常設展：「求菩提修験道の世界」 企画展：4月17日(土)～5月30日(日)求菩提資料館春の企画展「永遠の時を求めて～長尾一民染色屏風展～」 (同時開催「キラリ★彩りの会 親子手織り展」) 4月17日(土)～5月23日(日)第9回ふるさと写真コンクール入賞入選作品展 7月22日(木)～8月31日(火)夏のミニ企画展「豊前の鬼」(仮) 市民歴史講座：「古文書から読み解く豊前地域の様相」 6・7・9・10・11月の第3土曜日 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。
甘 木 歴 史 資 料 館 〒838-0068 朝倉市甘木 216-2 TEL・FAX 0946-22-7515	常設展：第一展示室「朝倉の民俗・歴史資料」/第二展示室「朝倉の考古資料」 企画展：7月10日(土)～9月5日(日)夏季企画展「朝倉の古墳」 ひみこ講座：前期テーマ「朝倉と筑後地域の古墳」全5回 5月～9月の第2日曜日、各回14:00～16:00、定員30名(要申込) 子ども歴史教室：甘木絞り体験講座：8月下旬
柳 川 古 文 書 館 〒832-0021 柳川市隅町 71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	常設展：4月8日(木)～10月3日(日)「古文書をたのしむー見方・読み方・調べ方」 企画展：～4月4日(日)「松井家・立石家のおひな様」 古文書解説講座：毎月1回(第4日曜日) 古文書入門講座：8月中旬から9月上旬の4日間を予定。

\*各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。

**九州歴史資料館**  
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106  
 福岡県小郡市三沢 5208-3  
 ☎ 0942-75-9575  
 FAX 0942-75-7834  
 URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
 観覧料 一般210(150)円 大学生・高校生150(100)円  
 満65歳以上・中学生以下・障がいのある方(同伴介護者1名)無料  
 ※土曜日は高校生も無料  
 ※( )内は団体料金(20名以上)  
 休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)  
 年末年始(12月28日～1月4日)



- 公共交通機関
  - 《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から約700m
  - 《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分
  - 《小郡市コミュニティバス》東野・美鈴が丘ルート「九州歴史資料館」下車  
西鉄三国が丘駅西口から約3分(9:57・15:09) 日祝運休
- 自動車
  - 《九州自動車道》筑紫野 I.C. から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
  - 《大分自動車道》筑後小郡 I.C. から国道500号線・県道88号線経由で約15分
  - 《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分